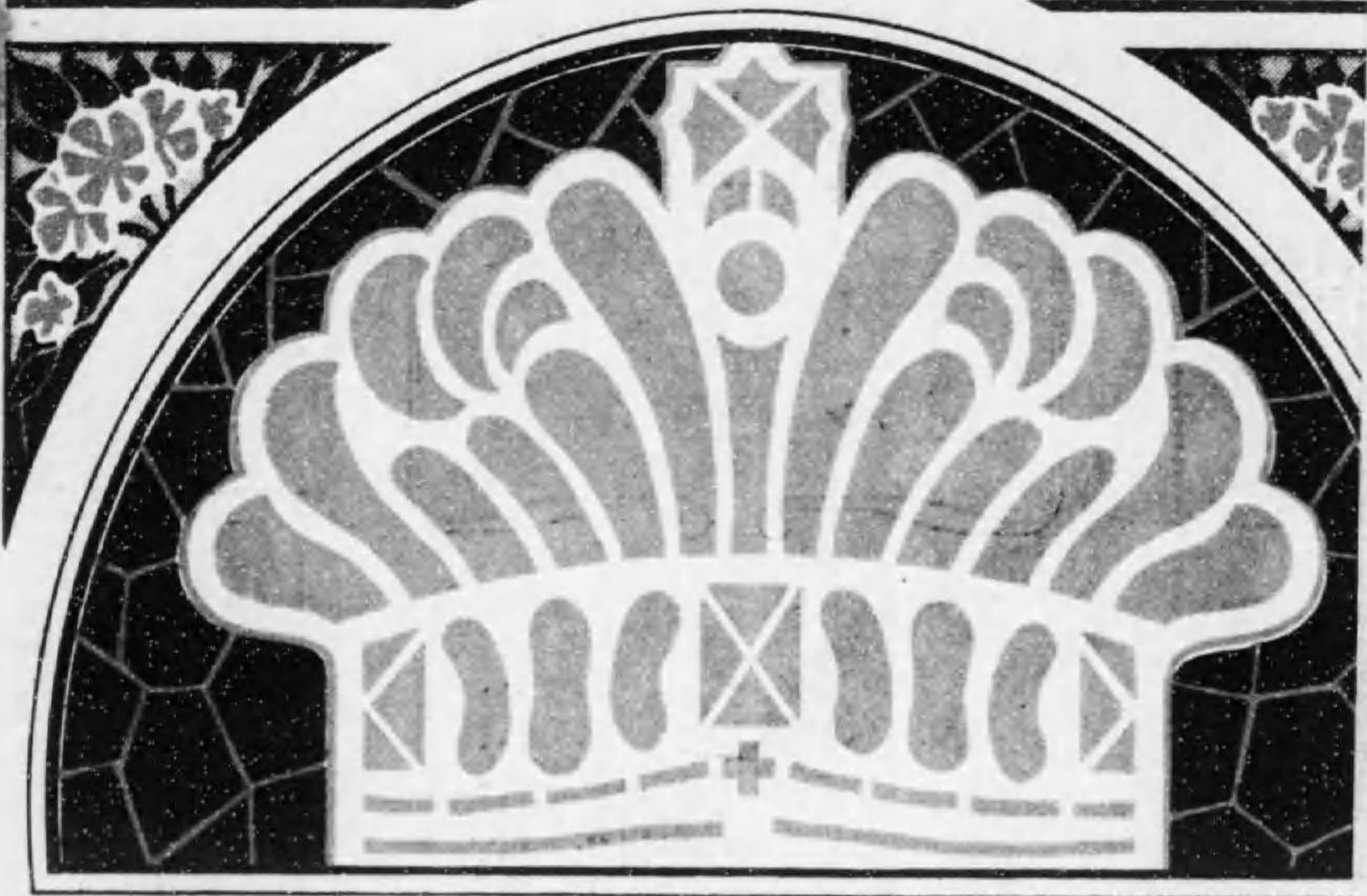


型料眾

特 115

801





 第 一 卷
 第 四 號
 R. I. O.



始



特 80

王冠印

ターペンタイン

品質松印テレメン以上の評あり

□ 納入先 □

宮内省、帝國鐵道院、朝鮮總督府鐵道局、南滿洲鐵道株式會社、東京砲兵工廠、橫須賀海軍工廠、東京陸軍兵器支廠、鐵道聯隊材料廠、株式會社日本製鋼所、各ベイント製造工場、各ワニス製造工場、各靴墨製造工場、株式會社芝浦製作所、其他各地電氣鐵道會社、

販一
賣手
飯田連庫本店

東京府原郡品川町南品川廣西
合資會社

大正テレメン製造所

香
氣
佳
良



廉
價
販
賣

歐米塗料
化學工業藥品
繪ノ具染料
メンダイン
布 鏡 紙 鏡

東京市京橋區銀座壹丁目拾八番地

井 上 屋

渡 邊 商 店

電話京橋一〇九六番

カタチヲン塗料代理店

内外塗料一式
 繪ノ具 諸油
 塗料 附屬品
 刷毛類 各種
 工業藥品
 各種共貯藏豐富大小共
 立所に調達御便宜相圖
 り可仕候
 品物は上下共に相揃置
 き候故撰擇御自由に御
 座候

東京市神田區塗師町五番地

内 外 塗 料 商 會

電話本局三〇四九番

多少に拘はらず御
 用命の際は敏速に
 配達可仕候御急ぎ
 の方は弊店に御注
 文相願度候

日本チエイン製造株式會社・本邦唯一ノロイド指定・
 取締役 阿部億次郎
 専務 金拾五萬圓
 資本 約五拾萬圓
 一ヶ年 生産額
 設立 大正四年三月
 取締役兼 伊丹重太郎
 支配人

商標 **ICI**

營業	材料	試驗機
各種チエイン及附屬品 火作、鑄、各種ニ エ、等ノ試驗、依 ズ、等ノ試驗、依 應、等ノ試驗、依	英國、直輸入、製 ノ、直輸入、製 總、直輸入、製 械、直輸入、製 ナ、直輸入、製 用、直輸入、製	證明、二百五十噸ノ 證、二百五十噸ノ 明、二百五十噸ノ 會、二百五十噸ノ 協、二百五十噸ノ ラ、二百五十噸ノ セ、二百五十噸ノ

大阪市西區石田町壹番地
 電話 西 五三九番

□内外塗料一式
 □繪ノ具諸油
 □塗料附屬品
 □刷毛類各種
 □工業藥品

各種共貯藏豐富大小共
 立所に調達御便宜相圖
 り可仕候
 品物は上下共に相揃置
 き候故撰擇御自由に御
 座候

東京市神田區塗師町五番地

内外塗料商會

電話本局三〇四九番

多少に拘はらず御
 用命の際は敏速に
 配達可仕候御急ぎ
 の方は弊店に御注
 文相願度候

日本キイノ製造株式會社・本邦唯一ノロイド指定

取締役 阿部億次郎
 支店 伊丹重太郎

資本金 金拾五萬圓
 約五拾萬圓

設立 大正四年三月

商標 **ICI**

營業 各種チエイン及附屬
 火作品ノ製并ニ
 エイソノ製各種
 等ノ試験依頼
 應ス

材料 英國ヒン
 ノモノ直輸入
 總代理
 製造 機械用ス
 オルセン社製
 證明付五百噸
 モノヲ備
 阪工業試験場
 協會ノ證明書ヲ發行

試驗機

大阪市西區石田町壹番地
 電話西壹五三九番

塗料使用家の寶典

専門技師 大見鏢一君
 工學士 淺川彰三君 合著

ペイント製造及検査法

東京 博文館
 本町

四六判洋装特製
 紙數四百餘頁
 正價金壹圓
 送料 十錢

諸工業の發達に伴ひてペイントの需要日々に倍加し其本邦の需要額は現時約二百萬圓を算すべし然れ共ペイントは未だ一局部に限られたるの觀を爲し之に注目するの士少なく従て商品の取引上に於て種々の弊害を醸すことは畢竟世人の之に對する觀念の少なきに依れり著者は多年本業に従事し其經驗に得たる所のもの多きも未だ世に斯業に關する良書なきを歎じ遂に本書を記述して世に公にせり且つペイントは種々の異名を有し同一品にして異名なるあり異種にして同名なるものあり本書は主として一般に用ひらるゝ所のものを取り説明の場所により又た異名を加へたりペイントを使用する人々は本書に依つて研究せば其資する所鮮少にあらざるなり。

工學士 井川寛一郎君著 □ **インキ製造法** ▼正價金六拾五錢
 工學士 矢野道也君著 □ **繪具製造法** ▼正價金九拾五錢
 ▼送料八錢
 ▼送料拾錢

獨逸品
 虫印代用品

■本品發賣せられてより敵國獨逸品たる蟲印は市場より姿を匿し本品の需要は益々盛なり



各番共
 定價金拾壹圓

向虎印
 磨研布

東京市日本橋區本石町四丁目一番地
 塗料輸入商 飯田連庫本店

電話本局七五二、二〇二九番

塗料使料の家用寶典

専門技師 大見録一君
 工學士 淺川彰三君 合著

ペイント製造及検査法

東京 博文館
 本町

四六判洋裝特製
 紙數四百餘頁
 正價金壹圓
 送料 十錢

諸工業の發達に伴ひてペイントの需要日々に倍加し其本邦の需要額は現時約二百萬圓を算すべし然れ共ペイントは未だ一局部に限られたるの觀を爲し之に注目するの士少なく従て商品の取引上に於て種々の弊害を醸すことは畢竟世人の之に對する觀念の少なきに依れり著者は多年本業に従事し其經驗に得たる所のもの多きも未だ世に斯業に關する良書なきを歎じ遂に本書を記述して世に公にせり且つペイントは種々の異名を有し同一品にして異名なるあり異種にして同名なるものあり本書は主として一般に用ひらるゝ所のものを取り説明の場所により又た異名を加へたりペイントを使用する人々は本書に依つて研究せば其資する所鮮少にあらざるなり。

工學士 井川寛一郎君著 □ **インキ製造法** ▼正價金六拾五錢
 ▼送料八錢
 工學士 矢野道也君著 □ **繪具製造法** ▼正價金九拾五錢
 ▼送料拾錢

獨逸品
 虫印代用品

■本品發賣せられてより敵國獨逸品たる蟲印は市場より姿を匿し本品の需要は益々盛なり

□各番共□
 定價金拾壹圓



向虎印
 磨研布

東京市日本橋區本石町四丁目一番地

塗料輸入商 飯田連庫本店

電話本局七五二、二〇二九番

せる曉は新設會社株式の一部を引受け且つ又一定の期間新設會社の發行する社債に對し利子保證の責任を負担すべく、英國に於ける已存の主なる染料製造所は新設會社に合併すべく其他の染料製造所にして新設會社に合併するものあらば政府は其合併に關し必要な手段を講ずべしと云ふにありしも容易に意思の一致を見るに至らず幾回も論議研究せられつゝあり果して如何なる發展を見るべきや暫く問ふを止めて從來英國に於ける染料製造の状態を記述し且つ英國識者の思潮を紹介せんとなす。

如上述ぶる所により英國も亦た染料の輸入國たる事は之れを知り得たり然れども英國は全然外國品の輸入に待つにあらずして自國に於ても製造せらるゝも甚だ微々たるものなり、一九一三年中英國に輸入せられし染料價格は實に一九、四六二、二四〇圓に及ぶ少くとも從來同國に生産せられたる以外上記金額に達する製造を爲さざるべからず之れ中々容易の

業にあらざるなり、英國が染料製造に投じたる現在總資本額は多くも五百萬圓を昇らず、左れば現在の製造力は到底之の缺陷を補ふて獨逸よりの輸入杜絶に超然し能はざるなり故に近來染料の不足に頗る窮乏し種々の策を講ずるに至れり即ち瑞西に於ける染料製造業者と協議し染料製造原料並に半製品を供給し之れより製品を得る方法を講じ通路を佛國に取る協定成れりとの外報あり而して尤も注意すべきは敵國獨逸よりのアニリン染料の輸入を許可せる一事にして英國國民の心事を知るに足るべし、敵國との通商を特に許可するが如きは良くよくの事たるは疑を容れず。

英國工業家談じて曰く我英國の染料工業は總資本五百萬圓内外のものにして末だ小工業の域を脱せず然れども其性質決して斯かる小工業を以て満足し居らるべきものにあらず其關係せる範圍廣く例へば絹毛、木綿、リンネル、紙、皮革並に塗料の如き多數

の工業に對して必要欠くべからざるものなり、されど國民の多くは該工業の創始は極めて易々たるが如き傾きありて眞に斯業の開始の大困難に思ひ及ばざるが如し而して何時にても之れが勃興を期し居るが如きは大なる謬見と曰はざるべからず、然しながら莫大なる輸入額によりて支持せられたる染料界今日の窮乏に對し政府は如何の政策を以て望み且つ將來の方策如何是れ敢て問はんとする處なりと尙ほ論を進めて曰く英國が千九百四十六萬圓餘の輸入額の防遏をはかり自國に於て生産せんとせば茲に先づ二十萬圓の資本を投せざるべからずと而して是れが投資後果して其效を收め得て良く當初の目的を達し得べきや否やは頗る疑問とせざるべからず吾人は斯業開始の第一歩として研究せざるべからざるは如何なる準備を必要とするかの問題にあり之れを外とし前述の豫備思想より誘導せられたる計畫なりせばそは輕忽の譏を免かれざるべし染料工業と化學藥品工業と

の連鎖、原料の獨立問題は精細なる研究を必要とする是れ事業成否の分水嶺たり、案するに我英國に於て假令之れが設立を見たりとするも甚だ貧弱たるを免かれざるべく是れ所詮は英國染織貿易の衰微と同一の運命に到達すべきものなり海外に於て今後獨逸の染織物と競争を爲し之れを壓倒せんとする英國の希望も蓋し畫餅たらざるを得ざるべし尙ほ染料製造の如き複雑なる化學工業は之れに必要な装置を設計する技術者を必要とするも之れに十分なる技術者を得る事は甚だ困難なりと、蓋し工業と技術とは不離の關係にあればなり。

思ふに英國工業家をして斯く嘆せしめしも決して偶然にあらず彼の獨逸に於ける染料工業即ちアニリン染料の發達と其歴史につき考量するにアニリン工業の發明者ホフマン氏は初め倫敦に住し一八四五年より六十五年迄約二十ヶ年間倫敦の或研究所にありて此の研究を遂げ一八六二年は已に斯かる事を言ふ

に至れり即ち當時英國は印度より天然藍の多量を輸入しつゝありしが將來は印度に向つて英國より輸出するに至るべしと然るに英國は此の大なる發明者の伎倆を認めざりしを以て一八六五年ホフマン氏は獨逸に移り茲に於て充分の研究を遂げコールター染料の完成を爲し獨逸今日の獨占的地位を爲すに至れるなり英國は之の技術者を失へる爲めに染料工業は同じく英國を去れり今日より之を見る時は英國は全く其非を啣ち居る事なるべしホフマン氏去つて英國に第二のホフマンなし是れを思へば國家は有益なる發明者は之れを保護し以て其發明の完成を助成すべきなり。

以上の如き英國の現狀に於て政府當局者及び其干係者は如何なる協議を遂げ刻下の問題に應せんとするか論議の経過を摘記して之れが趨勢を知らんとす。

英國政府は染料及顔料の消費者を勧誘し其保護の

あり、反對者は全く平和回復後を競争を怖れて本會社設立の條件に不足を曰ふものなり即ち其條件の一たる五ヶ年間其設立會社より染料の供給を受くべき義務の負擔は苟くも該會社が戰時中を目的とせずして永續を目的とする以上其義務負擔中關稅によりて之れを保護するにあらずんば到底會社の成效を望む能はざると共に競争によりて市價低下するも加入者は其加盟契約に羈束せられて廉價なる獨逸品を使用する能はざるに至るべし茲に留意し以て充分獨逸と平和の商戰を爲し得るにあらずんば會社の使命を果し能はざるべしと云ふにあり。

之れによつて是れを見れば英國も米國も其歸趣は同一にして事業の困難と又た假りに一時事業の成立を見るも將來平和克復後獨逸との競争を恐るゝものゝ如し上來既に述べ來れるが如く獨逸が今日世界的獨占的地位を得るに至りたるには幾多の失敗と幾多の大犠牲の結果にして決して偶然ならざる事を知る

下に一大染料製造會社を設立せしめ以て織物業、織絨業、リノリアム製造業の必需品たる染料の供給を國産によりて確保せんとする企畫ありて當局者商務省に會して意見の交換を爲せる事は既記の如し其後種々具體化し來り The British Dyes Ltd. を設立する事とし資本金は貳千萬圓とし内金壹千萬圓は染料及顔料の消費者並に染料及顔料に利益關係を有するものに於て引受けしめ他の壹千萬圓は差當り政府よりの四分利付貸付金を以て之れに充つる筈にて其申込の四百萬圓に達せりと雖も本會社の株式となりたるものは五年間は染料の供給を全然本會社より受くることを契約するものなるが故に自ら英國に於ける三大染料業者は之れに加入するを肯せず而して既記の如く新なる設備を爲す會社にあらずして舊設のハダスフイールド Huddersfield に於ける染料及染料半製品製造業者 Read Holliday & Sons の工場を買入れ之れを改造擴張し茲に會社の首部を置かんとするに

べし之れを外にして輕々事を斷ずるは暴も亦た甚だしと云はざるべからず、英國も現下の窮狀乃至は今後の欠缺を永遠に補正せんとして上來記する如き運動あり而して計畫ありと雖もその反面に於て如上の反對ある今日容易に事業の成立を見る能はざるの狀態にあり。

吾人は茲に英米兩國の染料工業に對する思潮に對し如何なる態度を持して之れを見るべきか之れ我が國の識者に對する趣味ある問題たるを失はず次號に於て之れが解答を得んとす。(未完)

學術

米國製パイン油に就て

森林保護法の實施せらるゝや從來重要視せられざりし樹脂木より有要且廉價なるターペンチン油、パイン油ロジンの回收法及テール油、松根ピッチ、

木炭の産出業に長足の進歩を見るに至れり而してパイン油の工業的製造法を大別して二種となす即ち

- (A) 蒸氣及溶劑を用ひて抽出する法
- (B) 乾餾法

(一) 製造法

(A) 蒸氣及溶劑を用ひて抽出する法

樹脂木の小削片を鐵製蒸餾釜内に設けたる虚底上に堆積し其底部には釜内の温度を適宜に調整し得る過熱蒸氣の捲線を具備せり。

此操作を終れば釜の上部の裝入口及底部の抽出口を密閉し次に過熱蒸氣を通じて内容物を熱すれば最初に揮發し易きターペンチン油の多量を餾出するを以て之を冷却蛇管に導き凝縮せしむ此際釜中に殘留せる木片は重質ターペンチン油の少量とパイン油及ロジンを包有す此工程に達すれば通氣

を止め保温木片中に保有せらるゝ過剰の水分を蒸餾釜に接続せる真空唧筒に依りて排出したる後釜上の裝入口より液状炭化水素(沸騰點攝氏百拾六度乃至百參拾貳度)を散布して暫時静置すれば氣孔内に容易に滲透し樹脂質は完全に抽出せらるべし之を貯藏油槽に送り更に他の蒸餾釜に移して減壓蒸餾を行へば溶劑たる炭化水素は重質のバイン油(沸騰點百七十七度乃至百八拾八度)と容易に分別せられ且バイン油及ロジンは過熱蒸氣に依りて分餾するを得べし。

此方法は米國に於て大規模に行はれフランスウイツク會社の如きは一日五百噸乃至六百噸の樹脂木を處理すと云ふ恐らく米國各所に於ける乾餾法の原料取扱總額よりも多大ならん。

所謂低温抽出法は將來發展の餘地あらんも目下の狀況に徴すれば之を大規模に實施して其効果尠きが如し次に其一例を示さん。

(B) 乾餾法

ハウ氏方法は樹脂木より製紙原料を製造するに當りて必然缺ぐべからざる操作の準備工程と稱するを得べし即ち蒸餾釜に裝入せる小削片に稀薄なる亞留加里溶液を作製せしむれば樹脂は鹼化せらる之を冷却すれば亞留加里液より石鹼を分離するを得べく更に蒸發して適當の濃度に達せしむ此際生じたる樹脂石鹼は其儘市上に販賣するか或は之より樹脂を回收せんと欲せば該石鹼を酸にて處理するを要す而してターペンチン油及バイン油は前記の操作に先ち蒸氣にて處理するか或は亞留加里を加へて煮沸して回收せらるゝ者とす。

此低温抽出法に依りて回收せらるべき產出物はターペンチン油バイン油及ロジンにして前二者は飽和或は過熱蒸氣を用ひ後者は中性揮發溶劑或は鹼化劑を使用して分別し殘渣たる木片は製紙原質の製造又は燃料として使用するを得るなり。

長さ四呎乃至六呎直徑四吋乃至八吋の木材を横釜に入れ漸次温度を高めて炭化作用を完了せしむ此際温度の調整に留意しロジン及木纖維の過熱分解を避け可及的ターペンチン及バイン油を餾出するに務めざるべからず是餾出物の總量及各種分餾物の容量百分率は乾餾温度に關係すること頗る大なればなり樹脂木の乾餾法は古代には土溝内に堆積せる木材を一部分土壤を以て覆ひて燃焼を調整したりしが此方法に依りて回收せらるべき者はターペンチン及木炭の二種に過ぎず次代に至りてはピーハイブ窯を用ひテール及木炭以外に比較的少量の揮發性餾出物を回收するを得たり更に進んで横釜を用ひ排氣熱瓦斯を釜の外殻内に循環せしむるが或は釜中に設けたる鐵管を通過せしめて内容物を熱せり進んで浴法案出せられ熔融せるピッチ或はロジンを入れたる浴槽内に木材を投じ之に依りてターペンチン及輕質バイン油を揮發せしめ同時に

重油及ロジンを抽出せり前記準備處理法を輕たる木材は浴槽より取出し乾留を行ひたり。最近使用せらるる釜は實驗室用油浴の原理に則り各釜間及釜の外部を完全に圍繞せる圓筒形蒸氣套内を間斷なく環流せる加熱石油層に依りて蒸留溫度を適宜に調整するを得るなり而して此工程に於て生成せるターペンチン及バイン油を分留し更に蒸氣蒸餾法に依りて精留する者とす但しターペンチン及バイン油の蒸餾に際し油浴の溫度攝氏二百三十二度を超るざる様調整すること肝要なりとす。

種々なる方法に依りて製出したる乾留生成物は概して其性質を同ふし且其生成物はターペンチン、バイン油、テール油、バインテール、ピッチ、及木炭等とす然れ共稀には劣等のロジン油を生ずることあるべし。

米國にてライトウッドと稱するは比重の小なる木

纖維を指示するに非ずして多量の油分及樹脂質を含有し容易に引火し得る特性を有すればなり合衆國の南部にては該樹の小東(直徑四分の一吋長さ一時の木片)を燃料用として販賣せり其薄片は透射光に依り半透明の紅玉硝子の觀を呈す此特種なる木材は木ターペンチン、バイン油及ロジンの蒸餾に用ひらるること多しとす。

(二) バイン油の化學的及物理的性質

松柏類の樹幹より分泌する液汁を採集、蒸餾すればターペンチン及ロジンを得るも乾留法にありては前記二物の外ターペンチン及ロジンの中間生成物たるバイン油を製出する者とす此油の化學構造式に關しては未だ決定の域に達せずと雖も其化學的成分は近年に至りて確立せられたりバイン油の化學的成分に關し研究の先驅をなせしはチーブル博士にして氏

は米國産ビヌス、オーストラリス樹に就て研究を重ねた結果を發表せり。

該樹より製出せるバイン油は清澄無色にして三乃至四パーセントの化合水を含有する者及び微黄色の觀を呈し化合水を含有せざる者との二種あり而して其比重は比較的低き沸騰點を有するターペンスの存否に關し〇、九三五乃至〇、九四七の範圍にあり。優等品は約二百六度乃至二百十度に於て蒸餾を始め二百十一度以上二百十八度以下に於て其七十五パーセントを二百十三度以上二百十七度以下にて其五十パーセントを留出し攝氏拾五度半に於て〇、九四五の比重を有する者の旋光度は約(α)_D 〇・二・屈折率はN_D 1.4830なりとす。

バイン油を分留して得たる各種留出物の比重は蒸餾溫度の上昇するに従て規律的に増大すれども二百十七度に達すれば約〇、九四七なる一定の比重を把持するに至る。

主にターピノール(C₁₀H₁₆O)より成立せるバイン油はチーマン及シュミッド氏の方法に依り之をターピンハイドレート(C₁₀H₁₆O₂・H₂O)に變化せしむると容易なり而して此反應を促進せしめんと欲せば五パーセント硫酸或は硫酸にベンジンを混和したる者を用いて油を處理し絶へず攪拌すれば三四日間にて反應完結せらる然れども前記混合物を靜置すれば數ヶ月の後ターピンハイドレートの美麗なる大結晶を生じ其熔融點は百拾七度乃至百拾八度なり此際生成せられたるターピンハイドレートの量は理論上より計算したる量の約六拾パーセントに過ぎず。

以上の製法は簡單且經濟的なれば左來のターペンチン、酒精及硝酸より製出せる方法に比して優れる者とす。

前述の如く松樹より分泌する液汁を蒸氣蒸餾すれば主に炭化水素ピネン(C₁₀H₁₆)より成立せる揮發性液體即ターペンチン及ロジンを得之に反して數年

間地上に放棄せる松樹の幹、株及根を蒸氣蒸餾すればターペンチン及ロジンに加ふるに外氣に暴露したる結果として加水分解及酸化作用に依りて生成せられたる重油即バイン油を得べし。

(三) バイン油の用途

純粹なるバイン油は葛縷子種或は杜松種より抽出したる油に類似せる芳香を有すれども其不純なる者は焦性臭味を有する化合物の悪臭を發するを以て室内用に供し難し然れども光澤を有せざるペイントの製造に用ひらるゝ事多く且塗面を平滑ならしむるに甚有効なる者とす刷毛にて塗布する際其流れ良好なる而已ならず徐々に揮發するを以て刷毛目を生ぜず。

此油は甚強力なる溶劑なれば乾燥性油と共に熱すること不完全なる際相分離するの傾向を有する多くの酸性樹脂も之にバイン油を加ふれば其缺點

を除去し得るなり。

此外ナイトロセルロース溶液の稀釋劑として使用せらるゝ事多く又假漆を還元するに當り冷却劑として良好なる性質を有す。

斯の如くバイン油は最近に至り有要原料の位置を占むるに至りしも亞麻仁油或はターペンチン等の代用品たること能はず然れ共其特性を利用講究せば其價值を増大すること論を俟たざるなり。

(四) バイン油中の水分檢定法

多くのバイン油は少量の化合水を含有し其結合力量比較的強ければ脱水分とすに當り比較的複雑なる装置を要し温度の調整を必要とす然れども水分の檢定をなすに簡單なる者なきに非ず 即次に示せる方法は其一なり。

五瓦のバイン油をベンチン、ケロシン或はベンゾールの如き中性鑛油の一瓦と混和振蕩して完全なる

如し。

合衆國公立分析所に於ては一般に炭化石灰を使用して水分を檢定するも此方法たる瓦斯容量分析法なれば一般工業界に採用せられざるなり。

市上販賣のバイン油を脱水し之を分析したる結果を表記せば次の如し。

バイン油の分析表

試料番號	一	二	三	四	五	六	七	八	九
比重(攝氏拾五度)	0.933	0.947	0.938	0.930	0.921	0.955	0.932	0.950	0.933
色	微黄色	無色ナラズ	無色	淡黄色	淡琥珀色	淡黄色	無色	淡黄色	無色
酸價	0.6	0.1	0.5	0.5	0.4	0.7	0.7	0.3	0.7
沃度價	143.5	118.4	135.4	161.5	173.9	233.2	219.8	142.7	124.4
引火點(華氏)	170	175	145	160	148	168	175	160	176

バイン油の原素分析表

試料番號	一	二	三	四	五	六	七	八	九
炭素	76.1	77.9	77.0	81.8	80.9	79.0	78.4	79.6	76.3
水素	11.5	11.4	11.1	10.6	10.6	11.2	11.2	11.5	11.1
酸素	10.4	10.7	11.9	7.6	8.5	9.6	10.4	8.9	10.6

試料種別	炭素	水素	酸素
(理論計算數)	77.85	11.75	10.6
佛國產	87.7	11.9	11.1
米國產	87.7	11.1	11.1
木ターペンチン	85.7	11.1	11.1
第一餾出物	84.3	11.8	11.1
以下ニテ溜出セル油	83.6	11.4	11.0

市上に販賣せるバイン油の割温蒸餾分拆表

温度	100°	174°-194°	194°-205°	205°-208°	208°-216°	210°-215°	213°-216°	216°-218°	218°
餾出量(%)	100	5	11	10	25	35	6	1	4
此重(攝氏拾五度)	0.82	0.90	0.93	0.95	0.94	0.92	0.92	0.92	0.95

華氏六拾五度の實驗室内に於けるバイン油の揮發度(百分率)

試料番號	一	二	三	四	五	六	七	八	九
時間	27.8	20.3	30.4	31.8	46.9	58.6	58.9	68.0	35.3
揮發度(百分率)	3.8	4.8	5.8	6.8	7.8	8.8	9.8	10.8	11.8

蒸氣浴上に於けるバイン油の揮發度(百分率)

試料番號	一	二	三	四	五	六	七	八	九
時間	27.8	20.3	30.4	31.8	46.9	58.6	58.9	68.0	35.3
揮發度(百分率)	3.8	4.8	5.8	6.8	7.8	8.8	9.8	10.8	11.8

備考、蒸發後外觀淡色ロジンに酷似せる少量の硬質残渣を認め、四及五の残渣は暗黒色を呈せり是恐らくバイン油中に存在せる不純物に起因するが如し。

亞麻仁油に就て

亞麻仁油は亞麻子より搾出するものにして亞麻は北米合衆國、加奈陀印度アルゼンタイン及露西亞に於て多く産出せられ我國に於ても北海道に於て近者約貳拾年前より栽培せらるゝの外栃木縣方面に於ても多少の産出を見るに至れり。

亞麻の栽培は纖維の收穫を主たる目的とす然れども良好なる纖維を獲んとするには亞麻子の老熟を俟たすして苜取を要するが故に油の收取を計らんとせば纖維の收穫を第二位に置かざるべからず兩兎遂に追ふべからざるは亞麻の栽培に於ても亦見る所なり近來纖維と油との價格の關係上逐次亞麻仁採取を目的とする栽培をなす者増加する傾向を有す。

我國に於ける亞麻子の收穫は前記の通り北海道を首位とし其産額は一ヶ年百斤入約七萬俵を有すれども未だ之を以てしては軌近進展の境にある我工業界の用途を充たすに足らず滿洲、蒙古、又は朝鮮産の輸入せらるゝもの多く殊に今春に至りては歐洲戰争の影響として西比利亞鐵道と歐航船とは急需品の外輸送の便を失ひ爲めに露領亞細亞産出に係はるものに至る迄本邦に輸入せらるゝに至りたり而して昨年度以降の分に就きては未だ詳知するなきも其前兩三年間の輸入現況を見るときは亞麻子の量并に之に依りて搾取せらるゝ油量(概算)左の如し。

年度	明治四四年	大正元年	大正貳年
亞麻子量	四四、二〇六斤	四五六、九五二斤	四〇〇、一七九斤
油量	六二、二七六	六三、四六五	六三、一三六

亞麻仁油は亞麻仁子の熟否に依り其採油量と品質を異にするのみならず産地の異なるによりて其品位に徑庭を生ず今試に本邦に於て使用せらるゝものにして之を見るに其出油量は

産地及種類	支那産黄色種	同露色種	日本北海道産
出油量	三六、四%	三〇、八%	三〇%

を示し更に其油の特數を比較するに

産地及種類	支那産黄色種	同露色種	日本北海道産
比重	〇、九三五	〇、九三九	〇、九三二
屈折率	一、四七四	一、四七三	一、四八二
酸 值	三、二六		
礆化值	一九二、三	一九九、六	一九一、九四
沃度值	一九四、二	一九四、〇	一八五、七二

産地の異なるによりて來る品位の相違此の如きものあり而して亞麻仁油の用途は後に記すが如く一部分薬用に供せらるゝの外主として塗料油に使用せらるゝものなるが故上記の中特に沃度値に重を置くべき

理由あり蓋沃度値なるものは酸素を吸収し油の乾燥を速ならしむる素質の數を示すものなれば沃度價少きときは即其油は乾燥性鈍にして塗料用油としての價値を減ずることゝなり沃度値高きときは之に反して塗料用油としての價値を高むることを表示し得るものなればなり而して歐米各國に於て使用しつゝある亞麻仁油と上記本邦に於て使用し居るものとを對比するに概略左の如し。

北米産	一七五乃至一九〇
北露産	一八五乃至二〇〇
南露産	一七五乃至一八五
印度産	一八〇乃至一九〇
北海道産	一八五
支那産	一九四

依是觀之露國産の亞麻仁油が世界の斯業界に於て推賞せらるゝの決して偶然ならざるを知るべし品質の産地に依りて異なるが如く出油量も亦産地と

年の豊凶に依りて異なること論なきと共に搾油の方法に依りて又種子の種類を異にするに依りて其量を異にするものなり即冷壓法を用ふるときは出油量少く温壓法を用ふるときは概して其量を多く得べきが如し例へば冷壓法にて一七%乃至二八%を得るに止まるを普通とするに拘はらず温壓法を用ふるときは三〇%乃至四〇%を得べきが如し次に種類の異なるに依る出油量の差異を示す例證として今印度産亞麻仁油に就きてカンポール試験所長の調査したるものを假りて爰に擧げんに

亞麻子	種子と搾油との割合	種子と油粕との割合
白色種子(白花)	三五、一%	五四、二%
褐色種子(青花)	三一、二%	六四、八%
同少粒	二九、六%	六七、一%

亞麻子の産額は直に塗料供給力の豊否を示すものにして歐米諸國の如く塗料需用の盛なる國に於ては其豊凶に就て深甚の注意を用ひらるゝものなり該方

面に於ける産額は大約貳百貳拾六萬噸にして之を細別すれば左の如し。

印 度	五七三、〇〇〇噸
北 米	四九貳、〇〇〇噸
亞爾然丁	五九五、〇〇〇噸
露 國	六〇〇、〇〇〇噸

亞麻仁油が塗料油として特効あるは素より純粹なる同油を標準としたるものなるも其價格廉ならざるを以て奸商輩は之に他油を混和せしむること往々にして其混和量の増加するに従て亞麻仁油の特効を減殺せらる若し其混和したるもの荏油なるときは格別の悪結果を來すことなきも大麻油大豆油又は桐油等なるときは其混和油の特性を随伴し塗料として甚不適當なるに至るものなり嘗て米國シカゴ市に於ける亞麻仁油會社に於て信用せらるべき六個の會社より見本を徴して之を調査したることありしに何れも四%乃至六%の石油を混和しありたりとのことにて印

度油も亦往々にして此れ等の形跡を認むることあり故に之を使用せんとするに當りては慎重なる調査をなすことを要す。

亞麻仁油は既に上に記したるが如く原種の異同と産油の甲乙により其性状を異にするものなるも純粹なる良油としては概略左の範圍にあるものとす。

一、比重 〇、九二五乃至〇、九三八

二、不鹼化物 一、五%

三、沃度値 一七〇以上

四、鹼化價 一九〇乃至一九五

偽和油混入の有無検出の方法に至りては事専門技術に屬するが故爰に之を省略すべきも亞麻仁油は他油(荏油を除く)に比し沃度値高きを以て其低下は純良油にあらざるを證すべく鹼化價の低下は菜種油礦油等の混入を見るべく屈折率の低下によりても亦荏油桐油を除きたる他の偽和油の混入は發見し得べし。

同 (硼酸補償) 〇、九三六九 二〇〇、三 一六八、六四 二時間

同 (同 上) 〇、九四六一 一九七、三 一五二、〇二 二時間半

加熱は酸價にも影響あるものにして加熱の度高く且其時間長きときは酸價を増すこと頗る多し同時に空氣吹入をなすときは酸價を増すこと更に多し。

亞麻仁油は生油なると「ポイル」油なるとを問はず之を物體に塗布して乾燥すれば皮膜を作り外氣水分其他の侵蝕に對し物體を保護し其保存を安全ならしむ此油にて顔料を煉りたるを「ペイント」とす「ゴム」を溶かしたるを「ヴァニツシュ」と稱す礦油又は豆油魚油の如き劣等油は假令之に乾燥力を附するも「ペイント」又は「ヴァニツシュ」を作るに適せず徒らに價格の廉ならんを欲して此れ等劣等油によりて製出せられたる「ポイル」油を使用するは塗料本來の目的を解せざるの罪に座す。

亞麻仁油(ポイル)油は徒らに乾燥の速なるを貴ばず又遅緩に失するときは塗工作業に不便にして要は

亞麻仁油は種より搾りたる儘のものは色素及不純物を含有するを以て之を除去する爲日光を以て漂白し又は硫酸アルカリ粘土等を用ふる精製法あり而して尙一層乾燥を速ならしむるを目的とし之に熱を加ふることあり之を「ポイル」と稱す「ポイル」油は單に亞麻仁油のみを用ふることあり又は之に二割或は三四割の荏油を加へ用ふることあり荏油は亞麻仁油に比して乾燥力強く而かも桐油の如き種々の缺點を有せざるが故に荏油の混合過度なるときは「ポイル」油として却て良好なる結果を得ることあり。「ポイル」油は生油に比して比重及鹼化値を増加し沃度値を減少すること大略左表の如し之に乾燥劑を加へ又は空氣吹入法を施したるものは沃度値の減少更に甚しきものあり。

生亞麻仁油	比重	鹼化値	沃度値	加熱度
〇、九三四	一九五、五四	一七八、〇六		
ポイル油(加)	〇、九四三三	二〇二、九九	一五四、五三	二時間
				二五〇度

遅速宜しきを得るを良とす蓋乾燥をして甚しく速ならしめたるものは塗面變色の憂あればなり又其粘度も輕視すべからざる要件なり其強きに過るは刷毛足重くして塗面流落の虞あり其弱きに過るは塗工には便なるも塗面刷毛目を生ず是れ製油業者の苦心する所にして直に油の價値に影響するものなり白色塗料及「ヴァニツシュ」用油は色薄く清澄の度一層良好なるる要するを以て油中の夾雜物を除き混濁を去り之を清澄ならしむる爲めには十分老熟せしむるを可とす而して之を老熟せしめんには半年以上一ケ年間油槽中に貯藏するを要す。

亞麻仁油の用途は塗料油に供用するの外藥用に供するものなるも其量塗料用に比して甚微々たるものなり。

アセチル纖維素假漆

アセチル纖維素を溶解するに最も有効なるものはテトラクロールエタンなれども粘性溶液を生じ且アセチル纖維素中に含有せらるゝ水分の爲に蛋白質的映光を發するの缺點あり故に實用的にはテトラクロールエタンに壹割の強メチルアルコール或はエチルアルコールを混和せる溶剤を用ふるを適當とす然れども此等混和液は多少可燃性を有し且前記アルコールはテトラクロールエタンに比し揮發し易ければアミールアルコールを代用するを可とす。

アセチル纖維素を溶解するには攪拌機を有せる混和機内に於てし依て生じたる粘性溶液は壓搾機を用ひて濾過する者とす。

アセチル纖維素より製出せる人造絹糸は他の原料を以てせる者に比して水に耐ふるの力ありと稱せらるゝも其價格不廉なるのみならず人造絹糸信託會社

アセチル纖維素溶液は捺染糊なる護謨或は澱粉の代用品として使用せられ且色染に耐ふる者なり。

亞麻仁油製ボイル油の代用品製造法

西曆一千九百十年獨逸國に於て特許を得たる製法の要點を抜萃すれば次の如し。

魚油及海産動物油を攝氏貳百參拾五度乃至貳百四拾度に熱すること暫時の後更に參百七拾五度乃至四百度の過熱蒸氣を貳拾五時間乃至參拾時間吹き込めば原油中の飽和脂肪酸のグリセライドは加水分解を起すべし而して此加水分解生成物を蒸餾して得たる者は其乾燥力大にして亞麻仁油に優れる者を得此際不飽和脂肪酸のグリセライドは重合作用を起し殘留するなり。

の設立せらるゝに及びて一大打撃を被り終に其製造力を減殺せらるゝの悲境に陥れり。

アセチル纖維素假漆は電線の被覆料として有効なる者とす次に飛行機用防水布を製するに用ひらるゝ適當なる處方を掲ぐれば、

- (一) テトラクロールエタン 九〇〇
- 工業用酒精(95%) 一〇〇
- アセチル纖維素 七五
- (二) テトラクロールエタン 八〇〇
- 工業用酒精(95%) 八〇
- アセトン 一二〇
- アセチル纖維素 六五

引張せる布片の一平方米突に就き前記防水劑約五百瓦を塗布すること二三回なれば護謨防水布よりも防水力に富み且油及モータースピリットに耐ふるの利あり。

資 料

米國に於ける滿洲大豆油の需要

滿洲大豆油が初めて歐米に紹介せられしは千九百九年の末頭にして當初は僅かに石鹼製造用に供せられたるも今や更に塗料製造の原料及精製して食用に供せらるゝに至り尙試験の結果他の用途發見せらるべしとも云ひ殊に滿洲豆油の輸入は無税なるを以て其需要頗る有望なるものなり故に本邦當業者のみならず其の筋に於て滿洲豆油の搾油及輸出に付き然るべく奨励方法を講ずるに於ては本邦對米輸出品中重要なる地位を占むるに至るべきを信ず左に米國に於ける豆油需要の實情を記し以て参考に供せん。

○用途及需要狀況

豆油は當初石鹼製造に使用せられしが當今に於て

は更に塗料製造用及更に精製して食用に供せらるゝに至れる尙將來試験の結果他の用途發見せらるべしと云ふ。

石鹼原料としての用途 元來石鹼製造用としては綿實油、コーン油、菜種油、コ、ナツト油等用られ就中從來は綿實油尤も多量を占めたりしが本品は昨今食用として需要激増せるのみならず該方面の需要は高位を拂ふ故勢ひ石鹼製造家は其罅隙を填補する爲め豆油に目を注ぐに至れり故に豆油は石鹼原料として他の油との値段の釣合範圍に於て賣行あり。塗料原料としての用途 豆油は又ベイント製造用に供せらる當國のベイント會社は其原料として亞麻油を用ふるも同油は當國に於けるリンシードの作の豊凶如何に依り値段に高下あるを以て若し其値段高きときは豆油を代用油とし又は亞麻油と混合して使用す蓋し亞麻油七五、豆油二五の割合を以て混和するときは良質塗料の原料に適すと云ふ。

食料としての用途 歐米に於ては食用用即ちリツキング用、サラダ用、罐詰用等の各方面食用として植物性油の需要年々増加しつゝあり而して此方面の需要には目下コ、ナツト油、精製綿實油、オレーフ油等使用せられつゝあるも其供給は需要を充たすに足らざるを以て此等食料品の値段は逐次昇騰の傾向なり茲に於て豆油を精製して這般食用に當てんとし目下歐洲並に當國に於て夫々研究中に屬するを以て若し其成績良好なるに於ては此の方面の需要は蓋し莫大なるものあるに至るべしと云ふ。

需要狀況 豆油は現に英國、丁抹、獨逸等に於て搾製せられ此等諸國には滿洲より直接大豆を輸出し居る次第なるが當米國への豆油輸入は是等歐洲製豆油も少なからざるも之れを滿洲よりの輸入數量に比すれば少量なりとす今最近三ヶ年間に於ける當國への豆油輸入額を示せば左の如し。

年 度	輸入數量	輸入價格
一九一〇年	不 明	一、〇九、八四三
一九一一年	四、一〇五、九二〇	二、五五、七〇七
一九一二年	二、〇一九、五〇〇	一、五七、九六六

因に當國北カロライナ州に於ては之れが需要を見込み大豆の試験を始めたりと云ふ其成績に就いては未だ之れを詳にせず。

○ 値 段

豆油の需要が諸般用途に従ひ他の油との値段の釣合に關係を有するは前記の通なるが之れを當市或實業家從來の實驗に徴するときは豆油と他の油との値段の關係は略ぼ左の如しと云ふ。(値段は一封度を單位とし樽入のもの、紐育渡)

石鹼製造用としては、
 綿實油(粗製) 六仙五厘 豆油 六仙二厘
 コーン油 六仙二厘五毛

の如き釣合なる場合には豆油の需要確實なり而して

綿實油コーン油にして更に此以上の上値を示すに於ては其れ丈け豆油も上値に捌け得る譯なり。

ベイント用としては綿實油、コーン油の値段は關係なきも亞麻油七仙を稱ふる場合に於て之れが代用油たるには豆油六仙以下なるを要す但し或種のベイントには豆油も亞麻仁と同値にて需要ありと云ふ今紐育に於ける最近四ヶ年の相場表を左に掲げん。

目次	高低	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年
一月	高値	六八〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
二月	同	六八〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
三月	同	六八〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
四月	同	六八〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
五月	同	六八〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
六月	同	六八〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
七月	同	六八〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇

八月	同	七二	六六	六六	六六	六六
九月	同	七五	六六	六六	六六	六六
十月	同	八〇	七七	六六	六六	六六
十一月	同	八〇	七七	六六	六六	六六
十二月	同	七三	六六	六六	六六	六六

備考 但し右は樽入現物値段にして函入は右より約五厘方安し

尙大豆の米國輸入に對しては從來ブツシエル四十五仙の輸入税を課せられたりしが新關稅法に依り之れを無税となしたるを以て當業者間に於て滿洲大豆輸入に付き目下研究中の向もあり。

商 況

外電は歐洲戰亂に關する平和運動の起れるを報ずと雖も今日の狀態にて俄に平和の解決を見る事は至

難なるべくして戰爭尙暫く繼續せらるゝものと思はざるべからず、左すれば世界經濟狀態にも大なる進退なかるべくして不景氣は依然として不景氣なるべし銀行家は益々手元金の増加に窮し利子の引下げを爲し又は貸出日歩の協定を爲さんとす、斯くも金融の緩漫を告げて而して事業の目論見を見るなし是れ全く一般的不景氣の致す所なり塗料界もこの例にもれず荷動き活潑ならず。

ホワイト シング
亞鉛相場が古今未曾有のものなる事は前々より既に報道したる處なり是れが原因は種々ありしと雖も大原因は歐洲戰亂に基因するものなり而して此の相場何日迄繼續すべきやは識者の等しく疑問とせる所にし

て前月の最高八十磅臺を以て底止點と思ひしに果然大暴落を來し三十磅以上の差を生ずるに至れり然し此の倫敦相場は直ちに反動高を示し多少の回復を見たりと雖も元の高値には至るべからずと思惟し得ら

るゝなり、然し何れにするも斯かる大變動の際には各自一大注意のもとに成行を見つゝあれば或は市場の干係により局部々々に於てそれぞれ變つた場面を維持する事と思はる。

内地のシングベイントは此の亞鉛の暴落に目さめて急に値下げを發表するに至れり此の舉は吾人の目より見れば甚だ當を得たるが如くにして然らず迂愚なる商政策たる事を言ふに憚らず過般亞鉛相場が旭日昇天の勢を以て上向きつゝある間にその勢に怖れて突飛なるシングベイントの値段を發表し外國製品と殆んど差なき迄に引き上げたるを以て其需要俄に閉塞し如何ともする能はず去りとして値下げの理由なきを以て一般發表したる値段を下げも得ず大に頭痛の處今回の暴落に伴ひ之れを良き潮時として大々的シングベイントの値下げを斷行せり而して其反面的亞鉛華そのものは何等値下げをせざる模様なり之れ等が即ち製造家の暴横なる處にして其商政策たるや

全く市場を秩序的に制し得ざるものにして且つロヂックに合せざる點なり其引下げの原因あるに於ては萬端之れに伴ふ値下げを爲し需要者に迎合すべきなり製造家は内に反省すべきなり。

内地製上等シングベイントは九圓四五錢外國品はパックス會社向獅子印は十圓七八十錢より十一圓を唱へ居るものゝ如し。

光明丹
鉛相場一時下向きを呈せしも直ぐに引き返し却つて上向きの傾向を呈するに至りたれば亞鉛の値下げに引き換へ却つて値上げを爲さんとすものゝ如し然しながら先々月中旬に於て値上げしたるばかりなるを以て此上の値上は製造家に於て躊躇し居るものなり

紳士淑女間の流行

如何にして衣類の安

全保護をなすべきか

近頃社會生活が漸々と向上しつつある事は争はれぬ事實でありまして之れは流行衣類の意匠品質によつて遺憾なく代表せられて居りまするが斯の如くに多くの流行を迎へらるゝ皆様は家庭にありまして其整理方法に随分と御苦心せらるゝ事と思ひます、折角莫大なる費を投じて新調したる衣服………特に上着、羽織、コート、袴などが梅雨、夕立又は散滴等のために濡れたり滲染が出たり、縮みたり、若くは日光のため變色、褪色して更らに専門業者の手を経て滲抜、湯熨洗張、染替、仕立直し等の種々な

る手数と費用をかけなければ再び用ふる事が出来ないのであり、そしてその度毎に地質がいたみます此の時に當りまして如何したなれば尤も安全に經濟的に衣類の保存維持が出来ましようか？これは今般御大典紀念として賣出した王冠印防水剤を用ふるの外はないのであります、記者は一日該防水剤の發明者を訪うて親しく其發明の苦心談を聞き且つ之れが實見を爲して其偉大なる効能のある事に氣付き斯かる有益なる發明は之れを一般に公知せしむべき義務あるを知り茲にこの流行を見るに至りたる経過を記さんとするのである。

世間に於て之れ迄防水剤につき研究せられたる事は多々耳にする處なるも一も完全なるものゝ發明せられたるを聞かず、随分如何はしきものゝみ發賣せられ皆廣告法によりて衆人を欺き巨利を得たるものあるを聞く、今でも地方新聞等にて何々式防水剤又は防水原料と稱し粉狀のものを嚙ぎ居るものもあるも

之れは殆んど一顧の値だもなし左れば皆さんは斯かる山師的廣告に誘はれない様にせねばならぬ、然るにこの王冠印防水剤の發賣元は塗料の直輸入を爲し居る老舗にして塗料界に有数の地位を有するが故に苟くも自己が之れ迄幾年の間築き來りたる信用の基礎とこの防水剤によりて破壊せらるゝ様なそんな山師的のものを賣出さるゝ筈もなくまた同店は充分なる自信を有し若し本劑使用の結果有数の地質色合等に變化を呈したる場合は之れが責任を負担して其れに對する辨償をも爲すといふ、然しながら元より安染め又は著しく増量法を行わたる不正織物に對しては責任を負はないといふ之れは尤もの話だ兎に角此の防水剤は一時的の胡魔化物でないといふ事は記者の實見によりて明である。

王冠印防水剤は研究に従事せられてより四年の歳月を費し其間種々の苦心と經驗とを爲し本年の御大典に際し王冠印を附して紀念發賣を爲すに至れりと

いふ、本品の試験時代には市内第一流の呉服店に依頼し特に希望の紳士淑女の需めに應じ羽二重や縮緬御召類に防水加工をなせしに非常なる歡迎を受け現に某子爵の如きは極端なる防水衣類の愛用者であるとして浴衣に至る迄も防水加工をなせりといふ、本品の研究の目的は絹物であつたが某呉服店より試に洋服の防水を爲せし處お得意先より非常に結果がよいとの事で其後引續き毛織物の防水加工をも引受け居るといふ、御承知の通り縮緬類に雨や水がかかりますとそこが段々縮みまじたり又は染みになつてどうにも仕方のないものである殊に夏着の明石縮の様なもの汗で縮みが来て如何とも手だてがなくなる斯る時に此の防水加工してあるとどんな事があつても縮む様な事はない。

皆様が御着類に對し何等の心配もなく、潇洒した氣分で交際場裡に立ち活潑に愉快に御交際なさるには防水加工の御衣類を御召しになる事が肝要であり

ます、でありますから近頃上流の紳士貴婦人の間に於ける最新流行として防水加工の衣類が非常に受けがよいのでありますから衣類御新調に當り三越呉服店なり白木屋、松坂屋其他の呉服店に行き早速防水をなさるがよい。

また花柳界の皆様が一夕の宴會に折角の新調衣を酒の染み、御醬油の滴り等の爲め汚して其儘では再び着る事が出来ない様になる事があるから御座敷に於て如何なる亂暴なる客に逢ふも防水加工さへしてあれば平氣で御座敷の相手が出来す故に花柳界に於きまして一つの流行となつて防水加工の衣類を着ないものは大正の流行に一步後れるものとなつて居ります、御大禮も目睫の間に迫まつて居ります朝野の紳士貴婦人が晴の衣裳で儀式に参列なさる時定めない秋の日和、不意の俄雨等のときには此の防水加工が如何に御役に立つか今更事新らしく申す迄もなき事と思はれます一日も早く東京日本橋區本

に婦人便所の如きは便所の直ぐ隣室に化粧室を設けて婦人の爲めに備ふ、寢室は一等より數等の階級に區別され寢室と浴室と有するもの、寢室と居間を有するものと、寢室、客間、物置きを有するものとの數種に分れて居るが何れも新造なればすがくしき氣分に充ちて居る、壁や床も美麗なる白煉瓦、大理石、刺繍を施されたる目も覺むるばかり布を張り又は寄木細工で其出來榮の立派なる事として結構でないものはない、その内でも浴室の構造は日本式といはず西洋式といはず目新らしき趣向をこらし浴室には必ず洗面器から下つた覆式便器迄が備へられた客は最初この旅館に入らんとせば先づ玄關に入り左側の事務室に案内を請ひ應接室に導かれこゝで宿泊の其他萬端の相談を爲し愈々其決定を見れば昇降機にて各自の部屋に送られ定まれる部屋に通るの順序である開業は十月下旬が十一月月上旬との事である、こんどは大分簡易を旨とせる部屋もある様であるから愈々開業後は相當に客足もある事と思ふ。

文藝

石町四丁目一番地飯田連庫本店につき照會の上一度御試めしあらん事をお奨めいたします。

◎東京驛上の大旅館

東洋隨一の大建築東京驛二階三階の停車場旅館は昨年十二月より清水組が全部の工事を請負て改良工事に着手し本年六月末日迄に竣成の筈なりしも種々の模様替の爲め漸く昨今竣成を告げたるが内部の裝飾まだ完備せず之れさへ一通り整備すれば直ちに開業の運びになり居れり部屋の数に全體にて八十四にして寢室は五十六を數ふ、其内には應接室一室と三室より成る喫煙室及びバーの設備も中々良く出来て居る、事務室が二、給仕、物置室六、理髮室、球戯室、電話交換室の設けありその内尤も輪奐の美を放ち萬人の注意を惹くものは大食堂にてその壯麗なる事は驚く程にて氣持よく食事する事が出来よふと思ふ、又た數多の便所の設備も申分のなき構造にて殊



我が妹

小草子

机を買つた道具屋さんが家まで届けると云ふので少し少女には上等すぎると思つたが思ひ切つて買つてしまつた、そして妹の笑顔を心に描き乍ら歸つた。「貞ちゃん此机ねホラ來年師範へ持つてゆくのよ。」「あらッ……まあ!!」貞子は喜の目を見張つた。「姉さん、すまないわね!、まあどうも有難う、いゝ机ね、鍵がかかるのねどうもありがたう……。」「勉強なさいよ、御禮なんか云はなくてもいいことよ、御禮云ふより勉強さへすれば、それが姉さんは

一番嬉しい来年は入學試験に落第ない様に一生懸命勉強なさいよ……日常の何彼につけてすぐ師範の寄宿生活が貞ちやんの口へのぼる、あゝどんなに寄宿生活に憧憬して居るのだらう……ヤレ教育學、心理學、學校管理法と八釜しい理窟やコチ〜に固くなつた學問其者よりはうら若い乙女の集ふ楽しい女學校の寄宿生活こそ妹の熱心なものである、無理はない、無理はない、それが少女の自然の情だものかへり見て晴やかな過去をもたぬ自分は貞ちやんだけはやせめて、のび〜とした、快活な温健な淑女に仕立てやりたいと切に思ふ貞ちやんが入學後の寄宿生活について想像したり友達から聞いたたりしたこと、さも面白さうに、意氣込んで私に話すと、私はいつも一緒にやつてそれを楽しさうに聞いて、やるのが常である、今宵もまた一つ電燈の下に机を並べて、森とした秋の夜長を姉妹は讀書を始めた。

「姉さんアラ、アラアラ不思議だ、便利だわね姉

さん、私が鉛筆の削つた粉末を紙にためて此處へ置くと、いつの間にか飛んでなくなつてしまふの」と真顔でいふ。

「オホ……傍に居る私こそ、いゝ災難だわ」妹の無邪氣な言葉にはいつも失笑してしまふ、本人の貞ちやん一向平氣で新しい机に向ひ乍ら今度は發音怪しく小學リーダーの複習に餘念もない。

「姉さん……テ、オヤオヤつてのは何て意味でしたつけ？」

「え？……」

「テ、オヤ、オヤ、と綴つて何といふ意味なの？」

「知らないわ、そんなのは、どれ一寸拜見……これはT O O ツーちやないか……」

「アー……アハ……ホ……さうか、ハ……」一しきり笑ひこらげて。

「だつても先生か、此の綴りを覚えるのには、手に墨がついたオーオーと思つてればいゝつて仰言つた

から、私間違ひちやつた、テ、オーオーなのねホ……オヤオヤかと思つたわハ……」と私もさん〜笑つてしまつた。

私が沈んだ顔をして黙つて居る時妹は付つく島もないといふ風にヤハリ消氣して居るけれど、私が少し話かけると、よろこんで、いろんな話をする、其の話がいかに罪のない少女らしい話なので私はいつも「ウン〜」とさうなづき乍らほゝ笑まされる。

貞ちやん!!私に感謝してよ、弱い胸にあまる惱み快々として絶へず悶え、ひとり意氣地なきを啣つ私にやるせない思ひに、とさされる私には、和女が大きい一つの慰藉者なのです、貞ちやんが話す無邪氣な言葉を聞く時、飾り氣のない可憐な和女の姿を見る時、姉さん〜と慕はれる時十五年來見なれて居る我が妹ながら、純な純な藝術品として眺められる私の一舉手一投足、一言半句にも心服して、何事にも模倣し従順であつて呉れる和女を見る時、あゝいつ

までもこんな純な心を持つた少女であつて呉れ、いゝ……と私は思ふ、そして私は和女に對する責の重いのを感じないわけにはゆかないのです、私は姉として出来る限り和女の前途を幸福にしなければならぬ義務がある、よし和女が私に冷淡な子であらうとも……幸ひ和女は可愛らしい少女であつて呉れる、私はよろこんで貞ちやんにつくすことのできるのを幸福だと思ひます……

私が一言「ウン……」と云へば貞子は、心の底から安心して一切私に打まかせてニコ〜して居る。

あゝ貞ちやんは嫁ぐまで私が獨占することができらわねえ!!個性の固まる迄、私は物質上にはた精神上に自分の全力を傾けて貞ちやんを導いてやらなければならぬと思つた。

文 藝
秋 蟬

小 羊

秋風は吹き月は冴ゆる此の頃此處十二社池畔は落葉寂漠として遊行の人も日毎に稀になつてゆく、向ふの草叢から晝なのに蟲の音がチ、と聞こえ生ひ繁る雑草の中には女郎花や野菊が咲きいで、秋を語り顔に、私は濡れ縁に腰かけて、黄な夕陽の斜めに照る閑寂な庭の面を眺めて居た、左手はどこまでも連く松林に境界られ、右の方は晝に見る様な青桐の木立が四五本それに並んで門になつてゐる、門と云ふ程の門でもない自然木の櫻を其まゝ柱にして父が手製の栞戸をつけたものそれがまた私は甚く氣に適つてゐる、我帝の仰せかしこみて嵯峨野の奥に人を索ぬるてふ仲國ならねどもし中から琴の音でもするならば停むで笛でも合せるにふさわしい、小廣い庭の中心程に一坪ばかりの花壇があつて其處には萩だの菊だの

コスモスだの草花が雑然に植られてある、と櫻の病葉が音もなくハラ／＼と落ちた「秋が来た」と思つた單に思つたわけである、私は感じなかつたのだ、染み／＼と秋の氣分を感じなかつたのだ感激を求めて居たのに、今年も私になつたとは思ふけれど別に悲しくもなく空蟬の如き此の頃の自分が飽き足らなく、またなげなく思はれる秋としなれば何故とも知らず美しき愁にひたりて蟲の聲にも月の光にも、はた、紅葉に照る夕陽見ても事々に甘き哀愁を覺えて胸いたみ涙流るゝまでに感じた時代を思ふと、ああ！せんかたなさの笑も湧く、かへり見て其の頃を戀ふ程に今の私は幼なくもない、さりとて馬鹿らしと冷笑する程強い心にはなれない否未だそれまでに現實の人になり得ない、年月の力程恐ろしいものがまたとあろうか、我が幻影の殿堂は無残にも片端から打破されてゆく、あゝ今まで住みなれた此夢想の國を逐はれては私はゆくべき方もおほへずたゞ苛

酷なる現實の前に木の葉の如くふるえおのゝいた、幻影消滅の悲劇、そは、うら若い人の一度は出會ふべきものであるそんな現實の鐵槌に悲哀を感じて人知れず泣く時代もモウ過ぎた、容赦なく打下される其の鐵槌のあとより新なる世界を建設してゆく人がそれが強者といふ者だと聞く、いざ汝も新らしい建設をなさねばなるまいにと心のおくから警告する或る者があつた、我の聲、天上天下唯一人の救主なる我の聲を聞いた、救主には絶對權威を感じなければならぬ、其命令の前には唯々として何事も服従せねばならないとは思つて居るけれども捨てがたき執着の絆か、時に自ら冷笑し乍らも現世をば詩化し美化し常永久の春とのみ夢みて居た昔の純一な氣分をせめてモウ一度味ふて見たいと願ふのであつた、眞底からの悲しみもなく、眞底からの喜びも覺えず同情も求めず味方も求めず平氣でたゞ子然と廣漠際涯なき此の世に存在して自分を見るとき、さて何とつまらなくも面白くもないものだと思はないわけにはゆかない五色の酒に酔ふて歡樂の影を追ひ

文 藝

紅燈の下に愛人と囁語して人生の寂漠を忘れんとする人よ、それが一時なりとも御身をして全我を忘却せしめる程の力があるならばそれは随分と貴重なものので假令一時なりとも御身は安らふ木蔭のある人だと思ふ酔ひも得ず醒めも能はず自分の様な者こそ最も哀れむべし憩ふべき木蔭をもたず振り返へれども一旦破壊された、夢幻の國にかくれ家もなく、心に鞭打ても駒の歩みは遅々として、いつになつたらば目指す安住の地に到達し得られよ！荒涼の胸に不安の影掠め、目に見えぬ何物かに絶えず追ひかけられて、あせりにあせるこの動搖の胸を抑へて平靜な日々を送つては居る様なものゝ、冷たい白眼で力弱い自分を眺める時云ひ知れぬ悶を漠として覺えないでは居られない、熱と力に乏しい反應のない自分の内生活を思ふとき私は「影の様な人間だ」と吐き出す様につぶやくのであつた。またハラ／＼と落葉する私は目をあげて梢を見た碧青色に澄んだ夕空を仰いで「何でもよいから刺戟！驚く様な刺戟が欲しい涙する程感激して見たい」と願つた。

△△△社告▽▽▽

◎寄稿を歓迎す

本誌生れてより茲に四月之れより益々多忙ならんとす、顧みれば塗料界に雑誌として見るべきものなく新聞としてまた廣告機關として見るべき一もなし此の時に當り本誌は之れを獨立經營となし之れを公開して同業者諸氏の廣告機關たらんとすると同時に諸君の爲めに一層の便利を圖らんとすこの意味に於て内容の充實をはかり記事を精選せんとするも元より獨力を以てなし得べきにあらず是非共諸君の熱烈なる御助力によりて以て本誌の發展を圖らんとするものなれば諸君はこの塗料界を思ふて「塗料界」の爲め有益なる記事を御寄稿あらん事を希望す

◎投稿規定

原稿は字體明瞭にして行數二十行字數二十三字詰とし難解の文字には必ず振り假名を附せられたし。發送の宛名は塗料界社編輯係の事。

雜誌『塗料界』毎月一回一日發行

價 定		冊 數		定 價		送 料		合 計	
半箇年分前納	金六十錢也	一冊	金十錢	一冊	金十錢	一冊	金十錢	一冊	金十錢
一箇年分前納	金壹圓也								

料 告 廣	
表紙ノ二一頁	金三十拾圓也
表紙ノ三一頁	金二十拾圓也
表紙ノ四一頁	金三十拾圓也
廣告欄一頁	金十五圓也
半頁謝絶	

載 轉 禁

發行兼編輯人 小林健一郎
 印刷所 東京市本所區番場町四番地 今村 扶
 發行所 東京市日本橋區本石町四丁目一番地 塗料界社
 電話本局 長七五二番 二〇二七番

製 造 販 賣 品 目

- ◎ザボンエナメル
- ◎木材着色劑
- ◎木材目留劑
- ◎絶縁塗料
- ◎コロチオン

製造發賣元

田中工場

東京高等工業學校講師

場主 田中敬信

圖代價表は御請求により贈呈可仕候………
 圖見本は各種毎に郵税拾錢御送附有之度候………

東京府下王子町字堀之内

△△△社告▽▽▽

◎寄稿を歓迎す

本誌生れてより茲に四月之れより益々多忙ならんとす、顧みれば塗料界に雑誌として見るべきものなく新聞としてまた廣告機關として見るべき一もなし此の時に當り本誌は之れを獨立經營となし之れを公開して同業者諸氏の廣告機關たらんとすると同時に諸君の爲めに一層の便利を圖らんとすこの意味に於て内容の充實をはかり記事を精選せんとするも元より獨力を以てなし得べきにあらず是非共諸君の熱烈なる御助力によりて以て本誌の發展を圖らんとするものなれば諸君はこの塗料界を思ふて「塗料界」の爲め有益なる記事を御寄稿あらん事を希望す

◎投稿規定

原稿は字體明瞭にして行數二十行字數二十三字詰とし難解の文字には必ず振り假名を附せられたし。發送の宛名は塗料界社編輯係の事。

雜誌『塗料界』毎月一回一日發行

定價		冊數		定價		送料		合計	
半箇年分前納金	金六十錢也	一	冊	金十錢	一	錢	金十一錢		
一箇年分前納金	金壹圓也								

廣告料	
表紙ノ二一頁	金三十圓也
表紙ノ三一頁	金二十圓也
表紙ノ四一頁	金三十圓也
廣告欄一頁	金十五圓也
半頁謝絶	

禁轉載

發行兼編輯人 小林健一郎
印刷所 東京市本所區番場町四番地
印刷所 凸版印刷株式會社分工場
發行所 東京市日本橋區本石町四丁目一番地
塗料界社
電話本局 長七五二番 二〇二七番

製造販賣品目

- ◎ザボンエナメル
- ◎木材着色劑
- ◎木材目留劑
- ◎絶縁塗料
- ◎コロチオン

製造發賣元

田中工場

東京府下王子町字堀之内

東京高等工業學校講師

場主 田中敬信

價代價表は御請求により贈呈可仕候………
圖見本は各種毎に郵税拾錢御送附有之度候………

定價壹斗金七圓五拾錢

電氣絶縁用
印刷インキ用
防水布用
車輛屋根用

ロヂン・オイル

(樹脂油)

尾張屋 飯田連庫本店

歐米塗料直輸入販賣 尾張屋大阪出張店

大阪市西區本田壹番町壹番地

電話西長一六一六番
替振大阪六〇一二番



定價壹斗金七圓五拾錢

電氣絶縁用
印刷インキ用
防水布用
車輛屋根用

ロヂン、オイル

(樹脂油)

尾張屋 飯田連庫本店



歐米塗料直輸入販賣 尾張屋大阪出張店

大阪市西區本町壹番町壹番地

電話西長一六一六番
替振大阪六〇一二番



■ 王冠印 防水劑 ■



- 雨が降つても酒がかゝつても染み、縮み、際付等の事なし
- 絹物、毛織物に尤も適す
- 絹物の色澤を害し地質を傷める事はすこしもなし
- どんな素人でも完全に防水加工が出来ます
- 加工の際皺付、縮みの憂がないから仕立上りのものも其儘加工が出来ます
- 防水加工した場合に地質のいたみ又は染みが出来た時は弊店に於て責任を負ひます

定價一瓶金七十銭

發賣元

東京市日本橋區本石町
四丁目一番地

飯田連庫本店

電話本局 二〇七五二番
振替東京 一〇七〇七番

王冠印



ワニス

飯田本店製品部

フエニツシング、ボデー
一號 ボデー
キヤレツチ、ワニス
コーバル、ワニス
ゴールド、サイズ
ブラツク、ヂヤパン
ブラツク、ワニス

ぼデーは舶來品の何ものよりも勝る事は既に試験の上證明されたり
コーバル、サイズは今迄になき安値にて販賣す

ワニス中の王!!

冠印の商標に
背かず發賣以來
注文輻輳す

何んといふても
日本中で一
番評判のよいのは
王冠印のワニスなり

終

清涼飲料

リボンシトロン

リボン、ラズベリー



エビスビ
サッポロ
アサヒ
ミュンヘン
ル

大日本麦酒株式会社